

東静電気株式会社 サイトレポート情報	
所在地	静岡県伊豆の国市中島244
敷地面積	16,394m ² 、建家面積：11,570m ² 、緑化率 7.2%
設立	1955年6月、従業員：208人（2011年3月現在）
主要製品	業務用洗濯機・業務用真空包装機・金属洗浄関連機器
ISO14001認証取得	2004年9月、最新更新年月：2010年7月 (ISO認証番号：JQA-EM4216)



ごあいさつ

東静電気株式会社は富士箱根・伊豆国立公園内に位置し、狩野川の清流と緑豊かな郷の中で事業を行っています。業務用洗濯機・真空包装機・金属洗浄関連機器を主に製造しています。当社は、塗装や金属加工機械を有し環境負荷の大きい工場ですが、全社員が環境活動に取り組み、環境負荷の低減に努めています。



環境保全責任者 鈴木貴博

2010年度の環境の主な取組み

- ・ISO14001環境マネジメントシステム
2004年9月に認証取得、2005年9月に2004年度版に移行、2010年7月に2回目の更新審査受審。
- ・エネルギー起源CO2排出量削減、製品輸送CO2の削減
エネルギー起源のCO2排出量を生産高原単位で2000年度比40.6%削減（目標39.0%）
CO2発生要因の低減と運送会社の啓蒙活動 売上高原単位で2005年度比6.6%削減(目標5%)
- ・廃棄物の削減
廃棄物発生量を生産高原単位で2000年度比30.2%削減（目標22.1%）。最終処分率は0.05%でゼロエミッション継続中。
- ・化学物質排出量の削減
化学物質総排出量が1.3%増加(目標31%削減) 但し生産高原単位では4.31kg→3.75kg/百万円と改善、粉体塗装設備導入
- ・特定化学物質の特定15物質群の全廃
新規開発製品における新採用部品のグリーン調達化
- ・啓発活動
環境ニュース、朝礼、環境教育等による啓発活動。
- ・地域行事への参加
地域清掃活動への参加（3件）

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



真空包装機



業務用洗濯機



金属洗浄
関連機器

環境コミュニケーションの紹介

- ・地域との交流
 - ：区内一斉清掃作業
 - 小さな親切運動
 - 納涼大会への招待
 - 近隣住民の意見調査

東静電気株式会社 環境基本方針

〔理 念〕

東静電気株式会社は、富士箱根・伊豆国立公園内に位置し、“狩野川の清流と緑豊かな郷”の中で、地域住民と共存している。この環境を健全な状態で次世代に引継ぎ、“かけがえのない地球環境”を守ることが、21世紀における企業の基本的責務との認識に立って、経営理念及び経営方針に基づき行動する。また、環境保全への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置づける。

〔基本方針〕

当社は、業務用クリーニング機械、真空包装機、工業用部品洗浄機など、製品の開発、設計、製造、サービスの事業活動を行っている。それらの事業活動において、以下の基本方針に基づき、持続的な環境改善を推進する。

(1)「環境経営マネジメント」

- ・事業活動、製品、サービスに関わる環境的側面について、生物多様性を含む環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染防止などに関する環境目的および環境目標を設定・推進し、継続的な改善・向上を図る。
- ・環境保全に関する法令・条例及び当社として受入を決めた要求事項の順守は勿論のこと社内規定や自主基準を制定し順守する。

(2)「環境調和型製品の提供」

- ・環境に配慮した材料・部品のグリーン調達、省エネルギー、特定化学物質削減設計によりライフサイクルを通じた環境負荷の低減を推進する。
- ・環境調和型商品の販売を促進し、お客様の使用時での環境負荷の低減に貢献する。

(3)「エコプロセス」

- ・大気、土壌及び水質の汚染を未然に防止するため、環境汚染物質の大気への排出、土壌への浸透、水路への流出の削減、防止に取り組む。
- ・敷地周辺に及ぶ、騒音・振動・臭気・塗装による粉塵及び化学物質の排出を可能な限り抑え、近隣社会の生活環境の保全を図る。
- ・地球資源の有限性を認識し、省エネルギー(電力)・省資源に、当社の全領域で取り組む。省エネルギーは、削減目標を決めて、これを実行する。

(4)「環境コミュニケーション」

- ・環境保全意識を高揚するため、社員に対する教育及び広報活動を行う。
- ・環境方針、環境活動について広く社内外へ積極的に公開する。
- ・環境に関する取り組みや成果を積極的に公表し、地域社会との連携により環境負荷低減に努める。

2011年 4月 1日

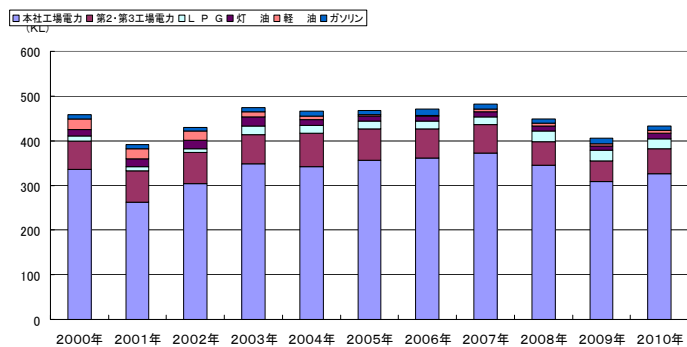
東静電気株式会社

代表取締役社長

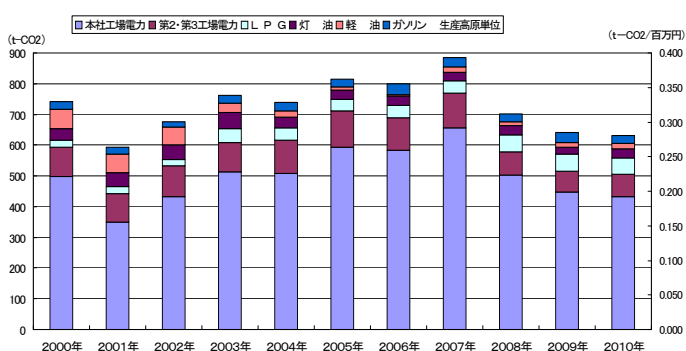
原 康三

環境負荷データ

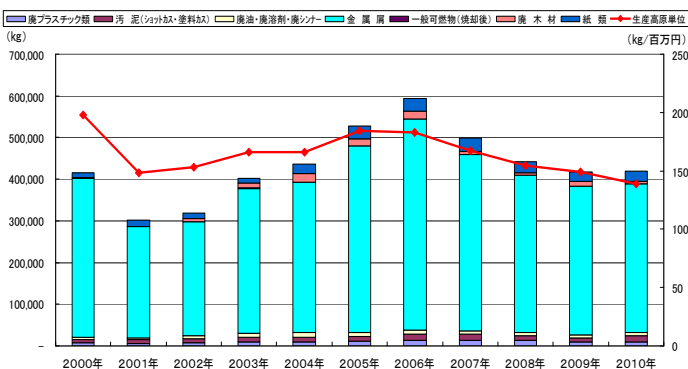
エネルギー使用量(単位:KL)



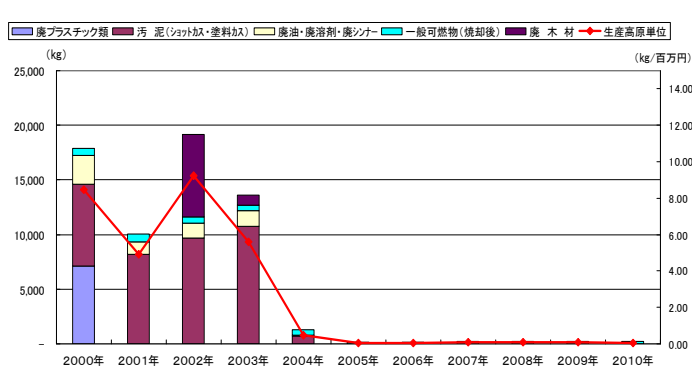
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:キログラム)

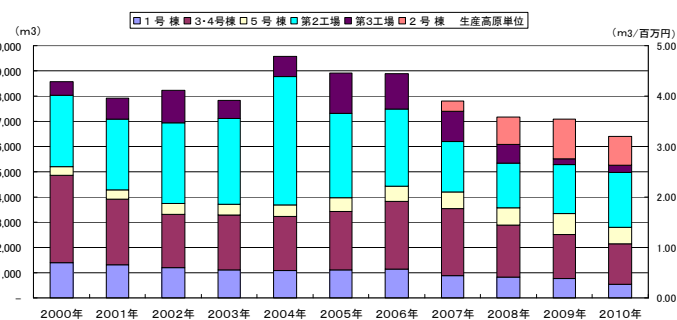


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:キログラム,%)

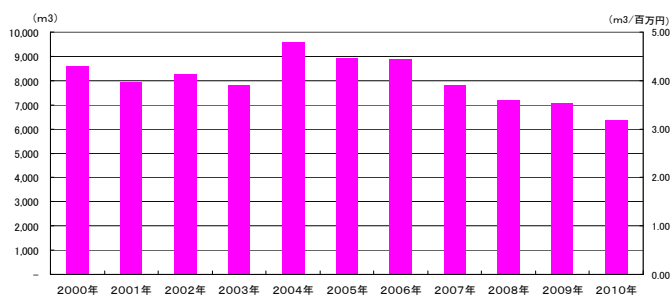


主な廃物名:酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

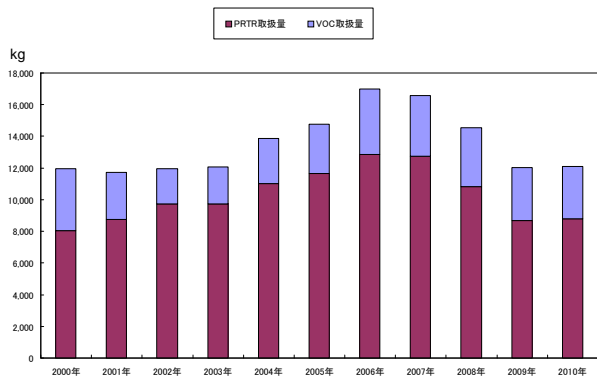
水の使用量(単位:m³)



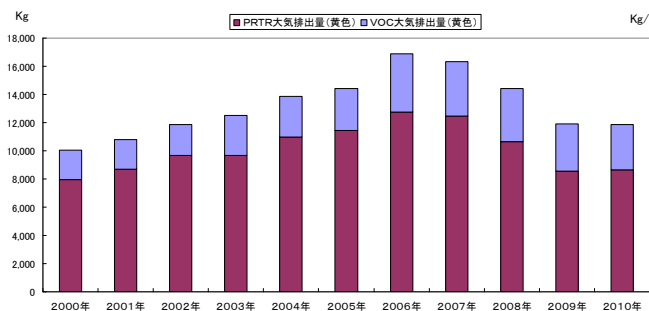
排水量(単位:m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(キログラム)



化学物質削減対象物質の排出量(キログラム)



主な化学物質:トルエン、キシレン、エチルベンゼン、エチレングリコールモノエチルエーテル

遵法管理状況

<大気測定結果> 多管式小型貫流ボイラー(都市ガス使用)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果>

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:52施設(機械プレス)、振動:15施設(機械プレス)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	55	55	54.5	年1回
	敷地境界:夜	45	45	43.5	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	55	35.2	年1回
	敷地境界:夜	55	55	30.9	年1回

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	6.0~8.4	7.6	年2回
BOD(mg/ℓ)	600	550	9.2	年2回
SS(mg/ℓ)	600	550	1	年2回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

環境目標

2011年度のサイトの主な環境目標

推進項目	指標	2011年度目標
地球温暖化の防止	生産高CO2排出量 2000年度基準	39.2%削減
資源の有効活用	生産高廃棄物総発生 量原単位2000年度基 準	22.1%削減
化学物質管理	大気・水域への排出量 2000年度基準	17.8%削減

環境目的

2012年度のサイトの主な環境目的

推進項目	指標	2012年度目標
地球温暖化の防止	生産高CO2排出量 2000年度基準	39.5%削減
資源の有効活用	生産高廃棄物総発生 量生産高原単位2000 年度基準	22.1%削減
化学物質管理	大気・水域への排出量 2000年度基準	24.9%削減